

第7号

平成26年9月25日

発行：北九州市

私立保育園連盟

青年会議

発行人：山本 博文

編集人：伊賀良 昌宏

鷲峰 康尚

橋原 法道

山崎 公博

北九州市私立保育園連盟 青年会議

青空通信

《青年会議 会長挨拶》

山本 博文(別所保育園)



平成二十七年度より始まる新制度に向け「公定価格の仮単価」が公表されました。今回の仮単価では現行単価の一割ほどアップが見込まれているものの、七千億円の財源が確保された平成二十九年度以降の数字であり、まだまだ十分とは言えない

状況であります。

この新制度の実施主体となる市町村では、保育の需給調整や保育認定作業さらに子育て支援のニーズの把握等、事業策定が着々と進められています。事業者者である私たちは、保育園として存続するか、認定こども園へ移行するか、判断を迫られているものの、十分な理解が困難であり、判断できない状況にあります。全国では地域の状況によって移行せざるをえない保育園もあります。

保護者においても新制度の内容が周知されおらず、今後、保育園、幼稚園、認定こども園のどの類型を、どのように選択、利用すればよいのか、その判断に困惑するのではないのでしょうか。

いずれの類型であっても同じ「保育の質」が担保される必要があります。また、量の拡大を急ぐあまり、質の向上がおろそかになることがあってはなりません。また、保育士不足が深刻化しており、特に保育士等の処遇改善を図ることは勿論、安心して保

《活動報告》

十月二十三日	研修会 新会計基準
十月二十九日	全私保連青年会議 茨城大会
十一月十二日	九州ブロック青年会議 九州日保協青年部会との合同会議
十一月十六日	全私保連青年会議 第九回特別セミナー
二月八日	情勢報告研修会
二月十三日	〇Bとの懇親会
三月六日	全私保連青年会議 九州ブロック沖縄大会
三月二十四日	平成二十五年度 第3回 全私保連青年会議 幹事会
三月二十四日	予算総会(平成二十六年)
四月十六日	平成二十六年 第一回 全私保連青年会議 幹事会
四月二十五日	「新会計基準の決算」研修会
六月十日	決算総会(平成二十五年)
七月三十日	九州保育三団体 青年部協議会
八月三日	小規模保育についての勉強会
九月十一日	わっしょい百万夏祭り
十一月二十日	全私保連青年会議 名古屋大会
十二月	《活動予定》
十一月二十日	公社全私保連青年会議
十二月	第十六回九州ブロック大会 in 北九州
一月十五日	熊本市青年部三十周年記念事業
一月十五日	全私保連青年会議 第十回特別セミナー

育に専念できる環境を確立していくことが、今回の制度改革を進める上で極めて重要だと私たち青年会議は考えています。

私たち青年会議も新制度に向け、さらに保育の質を向上させて行けるような様々な研修を計画し、様々な機関との連携を通して研鑽をしていきたいと思えます。

【全私保連青年会議 茨城大会】

（日程）平成二十五年十月二十九～三十日

（場所）茨城県水戸市 水戸プラザホテル

（内容）

全国各地より約四百名超えの保育者が集い、第三十三回全国私立保育園連盟青年会議「茨城大会」が開催されました。

一日目は、「日本の保育第一号といわれる豊田英雄くその生涯が語ること」と題し、水戸出身で日本人最初の保母豊田英雄について、曾孫である高橋清賀子氏がその生涯について話されました。幼少期わずか十二歳で母親を亡くした英雄は、姉とともに一所懸命弟の養育を行い、その経験が後の幼児教育の基礎となった。「幼児教育は国の発展につながる。そんな子どもを育てる人を育てるのが私の女子教育」という言葉が印象的であり、学ぶところが多々ありました。

分科会では保育システム研究所代表 吉田 正幸氏が講師を務め、「子ども・子育て支援制度の最新動向と展望」私立保育園の役割と今後の課題を考える」と題した分科会がありました。私たち保育者は、子ども・子育て支援制度の本格実施に向けて、国の子ども・子育て会議での検討状況についてや新制

度になれば、保育園にとって何が変わり、何が変わらないのか。変えてはならない普遍的なものと、社会の変化に即応して積極的に変えていくべきものとの、その両面を正しく理解しながら、これからの保育園運営を考えていくことが求められると学びました。

また、情報交換会では、「我武者羅応援団」による「気合いと本気の応援で世界を熱くする」という志のもと私たち保育者はたくさんパワーをいただきました。

二日目は、行政報告、情勢報告に続き、茨城県出身アーティスト石井 竜也氏による記念講演が行われました。石井さんの活動と作品をまとめた映像から始まり、幼少期時代やデビュー三十周年に向かってこの三年間は大切にしている事、震災にふれて今活動している事などを語られ、復興に向けて自分ができることを探し様々な活動をしておられ、とても感銘を受けました。

最後に、「大人たちが自分の夢を語る事で子どもたちも夢を持てるようになります。たくさん子どもたちに伝えてあげてください。種をまいて、どんな芽がでるかかわからないけれど、肥料をやり、水をやったり、やっど小学生になって小さい芽が出てくるそんな次の日本を背負ってたつ人間を育てている、どうか子どもたちのために、日本のために頑張ってください。」と話されました。とても胸が熱くなる講演でした。

二日間という短い時間ではありましたが、たくさんの方々との濃いお話を聴くことができ、充実した研修会となりました。二十七年度に施行される新制度については、今後の動向に注意しながら確認していきたいと思えます。

本城西保育園 橋原 法道

【九州青年会議合同会議】

（日程）平成二十五年十二月十二日

（場所）熊本市

（内容）

第二回目の合同会議及び研修会が熊本県の蟻田青年部長を議長に会議が開催されました。

十月二十四日に開催された「第一回九州保育三団体協議会理事会」に私保連青年会議より山本（北九州市）・向江先生（福岡県）と日保九州青年部会より吉岡先生（長崎県）三名が理事として出席し理事会の報告がなされました。

各県代表から今後の活動をどのようにしていけばよいのか様々な意見が出され、「九州保育三団体協議会」のもと「九州保育三団体青年部協議会」として組織名を付け、また、今後活動する上では九州保育三団体協議会の会則を基に行うことを決議し、これを地元組織で検討することで会議を終了しました。

別所保育園 山本 博文

【青年会議 第九回特別セミナー・研修会】

（日程）平成二十六年一月十六日

（場所）東京 浅草ビューホテル

（内容）

第一部は『センスオブワンダー』と題して、純真短期大学 豊永せつ子氏の講演により、知ることより感じるこの大切さ、子どもが自分自身を大切に思われていると感じることで自信が持てる関わり方の大切さ、心に喜びの種をまくこの大切さを学びました。

第二部では、平成二十七年度より新制度へ移行

することを踏まえながら、現在の都市部における職員確保の現状や幼稚園の現状、移行後における需要のピークと減少の予測、企業参加の可能性等、様々な事案についての意見が交わされました。まとめとして、制度の変更は経営上の変更と捉え柔軟に対応しつつも、子どもを主体としていく本質は変えなければならないということで締めくくられました。

研修が終わわり、浅草寺の昔ながらに賑わう参道を通っていると、人形焼からおもちやまで、様々に取り揃えたお土産が並んでいました。保育に関してもこのような品揃えになっていくのかと思いつつ、帰路についた研修会でした。

花園保育園 伊賀良 昌宏

【全私保連青年会議 九州ブロック沖縄大会】

〈日程〉平成二十六年二月十三日～十四日

〈場所〉沖縄県那覇市 沖縄都ホテル

〈内容〉

平成二十六年二月十三日～十四日の二日間に行われ、沖縄県で行われた「全国私立保育園連盟青年会議第十五回九州ブロック大会 in 沖縄」に参加させていただきました。

大会一日目は「平和学習」、「保育について」、「保育所運営について」の三つの分科会に分かれ、私はグループ討議「保育について」に参加させていただきました。縦割り保育や保育担当制について他県の先生方と討論形式で話し合いました。それぞれの保育に対する思いに共感すると共に、他県の先生方の取り組みや考え方を聞くことで納得することや疑問に思うことなどを広げることができました。

大会二日目は各分科会の発表の後、「人づくりの種をまく」感動体験夢舞台」をテーマに、講師の南島詩人 平田 大一人氏よりご講演いただきました。たくさんの方の経験談を基に話される若者の感動体験を通しての心の変化や、詩、笛、太鼓、三味線などを用いた個性的な語りに会場中がみ込まれ時間が経つのを忘れるほどでした。

今大会を通し、保育の難しさを感じると同時に面白さや深さも感じることができました。今後子どもたちのために何ができるのか工夫と実践を繰り返していきたいと思います。

栄美保育園 宮原 健輔

【新会計基準の決算】研修会】

〈日程〉平成二十六年四月二十五日

〈場所〉レインボープラザ5階会議室

〈内容〉

平成二十五年十月二十三日と平成二十六年四月二十五日の二回にわたり「新会計基準の研修会」をレインボープラザ五十一会議室にて、株式会社サーヴの古川 将司氏を講師に行いました。

一回目の研修会では仮の仕分け伝票をもとに実践的な会計の仕方を勉強し、二回目の研修会では新会計の決算処理についての勉強会を行いました。青年会議の中でも既に移行した園、これから移行



する園があり、それぞれの立場での意見や疑問点などが飛び交う有意義な研修会となりました。

平成二十三年十月五日の「新会計基準の概要について」の玉城税理士の研修会と合わせ、青年会議では計三回の研修会を開催し、新会計の理解を深めました。

浅川保育園 上原 剛

【平成二十五年年度 決算総会】

〈日程〉平成二十六年四月二十五日

〈場所〉レインボープラザ5階会議室

〈参加〉十六名(他に委任状一名)

レインボープラザにおいて、平成二十五年年度青年部会の総会が行われました。当日議長には、岩崎保育園・新川知明先生を選出し、円滑に議事は進行し、無事平成二十五年年度事業報告・収支決算を議決することができました。

本年度も親会や全国、九州組織との連携を密にとりながら、充実した研修会・例会等の活動を行ってまいりたいと思います。

【九州保育三団体 青年部協議会】

〈日程〉平成二十六年六月十一日

〈場所〉大分市 レンブランドホテル大分

〈内容〉

テーマ『未来への選択』子どもの最善の利益を保証する施設運営とは」と題して、九州・沖縄各県の青年保育者が集まり、九州保育三団体青年部協議会研修会が行われました。

開会式の後、行政説明①として、内閣府参事官 少子化対策担当 長田 浩志氏による、「制度全般、

認定こども園関係」の説明、引き続き行政説明②として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 幼保連携室長 南新平氏による、「保育所関係及び公定価格」について説明が行われました。休憩の後、「子どもの最善の利益を保障する制度とは」をテーマにパネルディスカッションが行われ、北九州市青年会議会長の山本会長がパネリストの一人として登壇し、激論が交わされました。

研修会終了後の情報交換会では、エブリバディストライダーによる自転車のパフォーマンスやゲーム大会等があり、各県青年保育者との懇親を深めました。

二日目は、講師に自由民主党参議院議員・環境部会長・予算委員会理事 片山 さつき氏を迎え、「子ども子育て支援制度の今後の行方」と題した記念講演から始まりました。休憩を挟み、「人材の確保と育成が保育の質を変えていく」をテーマにシンポジウムが行われ、様々な意見が飛び交い、あっという間に二日間の研修会の閉会を迎えました。

三団体会同の第一回目ではありましたが、多数の参加者が集まり大盛況の研修会でした。



幸神保育園 田中 信一郎

【小規模保育についての勉強会】

〔日程〕平成二十六年七月三十日

〔場所〕レインボープラザ五階会議室
〔内容〕

平成二十六年七月三十日、レインボープラザ内、北九州市保育所連盟第五十一会議室において、小規模保育事業勉強会を行いました。今回の勉強会は、待機児童解消加速化プランにより、今年度から新制度を先取りして始まった小規模保育事業について、開所・運営にあたっての問題点を整理し、事業への理解をより深めようというものでした。様々な問題が提起され、意見を出し合い議論することが出来、大変有意義なものとなりました。

今後このような勉強会には積極的に参加し、見識を身につけていきたい所存です。

池田保育園 阿部 大吾

【わっしょい百万夏祭り】

〔日程〕平成二十六年八月三日

〔場所〕北九州市役所前
〔内容〕

八月六日、毎年恒例のわっしょい百万踊りが開催され、今年も保育所連盟のサポート役として、青年会員もハッピー姿で参加しました。空模様の怪しい中でしたが、スムーズに休憩時のお茶配りもすること



ができました。rocketくれよんのお二人にも急ぎよ合流していただきながら、青年会議一同も北九州市民として楽しく参加することができました。

【青年会議九州ブロック in 北九州を開催します】

来る十一月二十日、二十一日に、小倉北区ホテル ニュータガワにおいて全私保連青年会議九州ブロック大会を開催する運びとなりました。新制度を控え、熱い活発な議論を行える場になりますよう現在、鋭意準備中です。

市内各園の先生方も、ぜひともこの機会にご参加くださいますよう、よろしくお願い致します。

《編集後記》

暑い夏かと思いきや、今年はなかなか晴れ晴れない天気が続きました。局所的な大雨のニュースでは予想だにしない降水量。幸いにも北九州は台風が東に西に進路を変更して大きな被害はありませんでしたが、全国的に見ると、冠水や山崩れによる天災がもたらされました。地球温暖化防止が叫ばれつつも、何もできない人類に地球はだんだんと険しい表情に変わっていくのでしょうか？

さて、いよいよ新制度は目前です。ぬるま湯に浸かったカエルは徐々に茹で上がると気が付かずに死んでしまふと聞きます。我々も今まで培ってきた知恵や経験のもと保育を継続しつつも、新しい方策手段も探求して行かなければなりません。未来を担う子どもたちのために頑張っていかなければならないと思う今日この頃です。

伊賀良 昌宏